

0-踏まれても生き返る

NO.34 2025.7.8

COM-MATCHAN

いたばし雑草通信

メール発信のみの情報紙です。無料購読希望の方はメールでお申込みください。

編集：発行 木村松夫

090-8646-9757

matsuokimura@gmail.com

com-matchan@hotmail.co.jp

板橋区立エコポリスセンター「かんきょう観察員」登録
地域自主活動グループのWEBページでも閲覧できます。ほかのグループのレポートも見てください

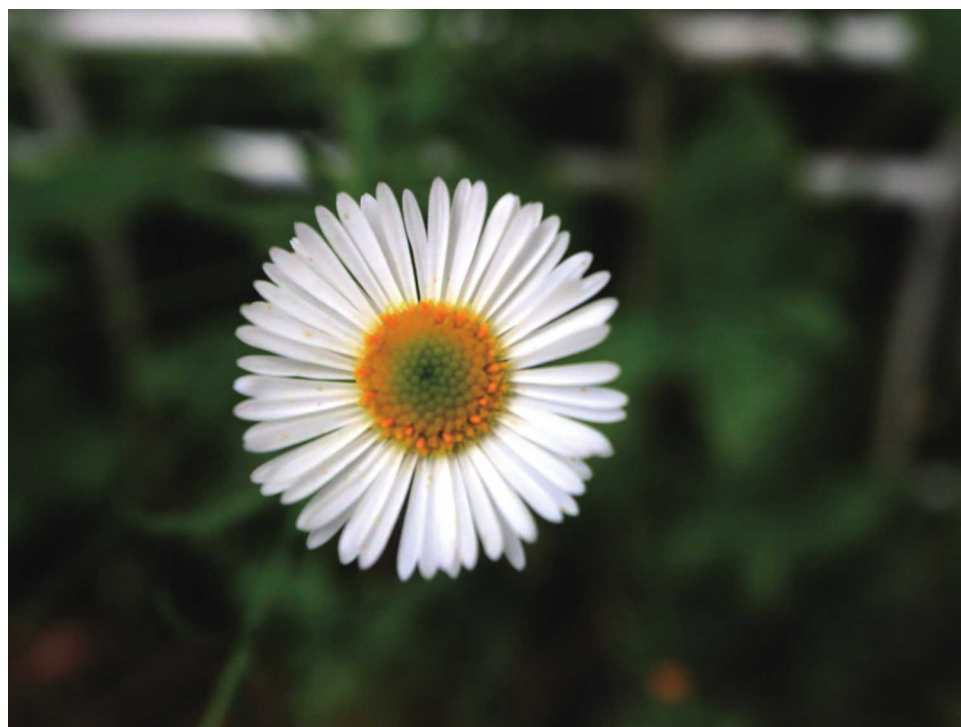
蒸し風呂のような空気の中で きらりと咲いている小さな花

足元の直径10mmの花を
凝視してみよう

ハゼラン ハゼラン科

真夏の蒸し暑い午後の短時間しか開花しないので「三時草」などとも言われているようです。5弁の花の直径は10mmほどの小さな花ですが、鮮やかなピンク色が灼熱の太陽の下でぼやけた頭をすっきりさせてくれます。

写真に写った左上、果実の中にたくさんの種子が入っていて、それが弾け飛ぶので「ハゼ～」と名づけられたと思っていたのですが、花の咲き方が線香花火が弾けた姿に似ているからということです。



ペラペラヨメナ キク科

直径10mmほどの大きさの花を拡大して観たのが左の写真。

ヒメジョオンに似ていますが、地べたに貼り付くように広がって咲いているとても小さな花なので、普段は人々から見向きもされません。「ペラペラ～」と名づけた人も、きっと上から見下ろして「大したものじゃない」と思ったのでしょう。

でも、こうして拡大してみると、舌状花の数はヒメジョオンの比ではないほどにたくさんあって、放射状に律儀に広がる姿は見事というほかありません。

腰を下ろして、じっくり見つめれば、炎天下の露地にも宝物あり！

まちなかでもよく見られるブドウの仲間



ノブドウ ブドウ科

マンションのフェンスに絡みついている植物を見て、「ヤヤッ！？ こんなところにブドウが成っているよ」と感心したのは良いけれど、これはノブドウ。別名イヌブドウとかカラスブドウと言われているようで、こういう冠頭語がつくと、いずれにしても「食べられない」のですが、まだ未熟な果実の形はまさにブドウで、この実が大きくなって甘くなったらうれしいと思いめぐらすのは自由です。



ツタ(ナツツタ) ブドウ科

このノブドウの葉とそっくりの形の植物がほかにもありました。右の写真の花は、花だけ見るとヤツデの花にも見えますが、葉は明らかにノブドウに近いもの。

これは、ツタ（ナツツタ）。ツタもブドウの仲間だと分かったのですが、ここまでくると、あの食べる葡萄は想像できません。

PR

『いたばし雑草通信』バックナンバー合冊版

←●頒価：1,000円●

本紙は発行以来1年3か月、テスト版を加えるとNo33までに36回発行しました。クリアファイルに1枚ずつ入れて保存してきたのですが、枚数が増えると管理も面倒になってきます。

そこで、36号分を印刷したものを製本して1冊の本に仕上げました。昔、資金稼ぎで小さな軽印刷屋をやっていたのですが、自家出版のパンフレットなど製本屋さんに頼むお金がないときは自分で製本していたのを思い出して自家製本したものです。

「区内植物ベスト100」 +「赤塚公園花だより」

SDカードにて提供 ●制作協力費：2,000円●→

エコポリスセンターの植物一斉調査で抽出された区内の植物ベスト100(142種)と「赤塚公園花だより・この花なにあに」で紹介した106種の植物を手許のパソコンで閲覧できるようにSDカードに収録したものです。



「赤塚公園花だより」この花な
あに」紹介種／106種
エコポリスセンター植物一斉調
査ベスト100／142種

このSDカードでの記録204種

いずれも有料での提供となってしまう申し訳ありません。ご希望の方はご連絡ください。

エコポリスセンターのホームページでは、ネットがつながればいつでも、どこでも無料で閲覧できます。右のデザインのバナーをクリックすると「ベスト100植物」を見られます。

板橋区内植物
ベスト100

